令和6年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 17
ID 102003

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターこぶし							
指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団					法人番号	1100005001692	
所管課	主	102000	障害福祉課	副				
構成施設	5695	地域活動支援センターこぶし						
施設分類	05	保健福祉・医療型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室（2）、事務室、男子トイレ（洋式1・和式1）、女子トイレ（洋式1・和式1）							
施設設置目的	障がいのある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。							
基本方針等	・利用者である障がい者、またその家族の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。							
主な実施事業	・地域活動支援センター事業							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 （優れている）	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 （良い）	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 （普通）	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 （劣る）	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 （悪い）	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団			当該指定管理者の指定回数	3 回
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日 5年			当該指定管理者の管理運営開始日	平成24年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 （問題等があった場合に、その内容等を記入）				3

2 施設の有効活用

No. 17

施設利用状況（利用者数、件数、稼働率など）	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価
	利用者数	人/年	1,778	1,514	1,453	1,483	102%	3
	（特記事項） 利用定員 15人 登録人数(R7.3.31)13人 ＊利用者数(人/日 6.2人) ・新規利用者4名退所者3名の1名増。登録者の内、デイサービス併用や年数回の利用しかない人もいるため、1日当たりの利用者増には繋がらなかった。							

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由
	市指定事業	・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務	
	自主事業	・創作活動 ・グループ活動（外部スポーツ教室講師依頼、少人数での運動等グループワーク） ・レクリエーション活動 ・余暇活動	

サービス維持・向上の取組み（広報等）	
	・長野市北部障害者相談支援センター及び民生委員・児童委員等と情報共有し、地域の障害者（課題ケース）を当施設利用に繋げるように、障害福祉サービスの利用に向けた調整を行った。 ・利用者について介護支援専門員や相談支援専門員と定期的に調整会議を設け、支援方法等について検討した。 ・「こぶしだより」を年3回発行して関係機関に配布し、新規利用者確保に繋がるよう情報提供した。 ・グループホーム利用者の送迎に加え、雨天や降雪時に在宅利用者の送迎を代行した。（個々の必要性を見極めた上での対応） ・「とよの秋まつり」に利用者創作品（墨あそび作品）を出展したり,随時利用者の作品や活動の様子等を老福センターロビーに展示して当所や障害理解への促しを行った。

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	（1） 利用者要望把握方法	利用者アンケート	3
		（2） 調査、会議等の内容 ・毎月末、その月に行った行事についてのアンケート調査を行った。 ・満足度調査は例年通り年度のまとめとして行った。（対象利用者9名、回答率100%）		
		（3） 調査、会議等の結果 1.日中活動について・・・（2）（3）は全活動の平均値 （1）作業について：とても満足5人 まあ満足3人 どちらとも言えない1人 不満0人 （2）文化的活動について：とても楽しかった37% 楽しかった44% 普通12% 難しかった7% （3）お楽しみ会について：とても楽しかった61% 楽しかった33% 普通4% つまらない2% 2.支援について （1）支援員の対応：とても満足3人 まあ満足5人 どちらとも言えない1人 不満0人 （2）支援員への質問・相談：できる7人 まあできる1人 どちらとも言えない1人 できない0人 説明の仕方：とても分かりやすい3人 分かりやすい5人 時々分かりにくい1人 分かりにくい0人 （3）連絡帳等での発信：とてもよく分かる3人 よく分かる6人 あまりよく分からない0人 全く分からない0人 3. こぶし利用について：これからも通い続けたい9人（全員）		
	利用者からの評価・要望・苦情等	（1） 良好とする評価 1-（1）難しくないのでいい （2）色々な歌が歌えてよかった・先生の伴奏に合わせて歌うのが楽しかった（歌の教室及びカラオケ教室）・久しぶりに筆を持ったがとても楽しかった（墨あそび）・美味しいものなら何でも作りたい（調理）・日頃運動不足気味なので来年度はもっと積極的に参加したい・難しいけれど面白い（サンアップル及びスポーツ協会のスポーツ教室） 1-（2）・これからも参加するのが楽しみ・色々と企画を考えてくれるので今まで通りに参加したい・今年度同様でいい 2-（1）・とてもよくしてもらっている（3）・お便り等で様子がよく分かり家族として安心できる・家族や同居者も「こぶしだより」を楽しみにしている・日々の連絡帳のやり取りを支援に役立てている 3・こぶしは楽しいので90歳まで通い続けたい		
		（2） 苦情・改善等の要望事項 1-（3）・今年とは違うお店に行って違うものを食べたい（外食について）・カラオケBOXにもっと行きたい・カラオケはお店でやった方がいい（こぶし内でのカラオケ大会） 2-（2）・説明の中で知らない言葉がある		
		≪対応措置≫ 1.行事については利用者の要望を汲みながら内容を検討する。 2. 利用者支援については言葉選びや話し方、視覚支援の導入等、職員間でも確認しながら分かりやすい支援に努める。		

4 事業収支

No. 17

事業収支（単位：円）	指定管理者収支（令和6年度）					市の収支				評価
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算		令和5年度決算（前年度）	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料		3
		指定管理料	9,100,000	指定管理料	9,100,000		雑（納付金）		雑（納付金）		
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		
		販売収入等	380,000	販売収入等	402,057		貸付料		貸付料		
		その他収入		その他収入	5,006		その他		その他		
		計	9,480,000	計	9,507,063		計	0	計	0	
	支出	人件費	7,658,000	人件費	7,806,213	歳出	指定管理料	9,100,000	指定管理料	9,100,000	
		設備管理費		設備管理費			委託料		委託料		
		備品購入費		備品購入費			需用費	175,880	需用費	190,170	
		修繕費		修繕費			役務費		役務費		
		光熱水費		光熱水費			使用料・賃借料		使用料・賃借料		
		事業費	468,000	事業費	384,531		修繕費		修繕費		
		事務経費	738,000	事務経費	693,292		工事請負費		工事請負費		
		本社経費	236,000	本社経費	214,000		備品購入費	55,440	備品購入費		
		その他		その他	7,520		その他		その他	45,786	
		工賃支出	380,000	工賃支出	401,507						
		計	9,480,000	計	9,507,063		計	9,331,320	計	9,335,956	
	自主事業	収入		収入	173,537						
		支出		支出	173,537						
		自主事業損益	0	自主事業損益	0						
	損益		0		0	差引		-9,331,320		-9,335,956	
	人件費比率【人件費（賃金等）／令和6年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									82.1%	
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由			職員の異動に伴う人件費の減							

5 管理運営全般

※ すべて ☑ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

管理運営全般	区分	確認内容	チェック欄	評価
	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
		配置実績（うち市内雇用職員数）：所長（非常勤）1人（0）、 経理担当（非常勤）1人（1）、指導員（常勤）2人（2）・（非常勤）1人（1） ※指導員は、男性1名・女性2名 トイレ介助等の為、現在の3名体制を維持		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☑	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☑	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	☑	
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
	セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☑	
		2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて ☑ で、「3」。1ヵ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 17

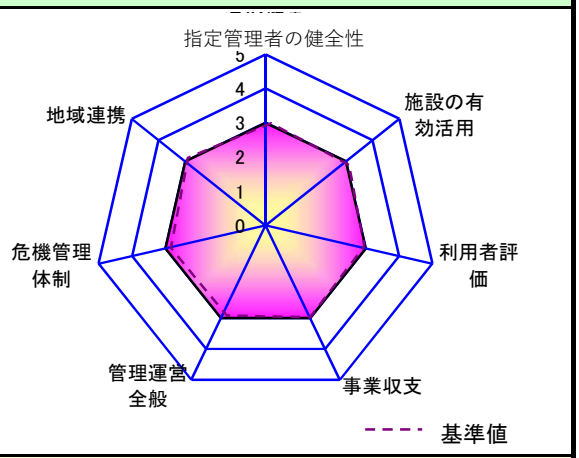
	区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☑	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	3
	・利用者の弁当は市内障害者就労施設(同一法人内)、おやつや事務用品等の購入物品は市内業者にて調達 ・「とよの文化祭」に利用者の作品展示の形で参加		

【総合評価】

	評価項目	評価	得点	総合評価
総合評価	指定管理者の健全性	3	6	合計得点
	施設の有効活用	3	6	
	利用者評価	3	12	60
	事業収支	3	6	
	管理運営全般	3	12	
	危機管理体制	3	12	
	地域連携	3	6	



評価理由	・設置目的について、十分に理解し提案した内容であった。 ・コロナで一時減少傾向であったが、昨年より増加した。 ・利用者が比較的高齢傾向であり、新規利用者の開拓として長野市北部障害者相談支援センター、民生委員等と連携し新規4名の登録に繋がった。今後も関係機関との連携で地域の障害者を受け入れる体制ができているので評価「4」とした。 ・定期的に利用者のアンケートを実施し、利用者の状況に応じた活動をしており、参加者からの意見も好評なことから評価「4」とした。 ・事業収支について健全な運営がなされている。 ・管理運営全般や危機管理体制について適正にされていた。 ・地域連携についても積極的にかかわっていた。

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	登録者の高齢化等が原因で、登録人数及び利用者数減が続いている。	・長野市北部障害者相談支援支援センター及び民生委員・児童委員等と連携し、4名の新規利用に繋げた。 ・減少傾向の利用者数が前年比102%と回復した。	

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	・利用者の高齢化が進み高齢者福祉サービスへ移行したり健康的な理由で利用停止となる人が毎年一定数出てくるため、引き続き関係機関と連携して新たな利用者の掘り起こしが引き続き課題となる。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・高齢利用者が多いので利用者が取り組みやすいようゆったりした日課とした。利用者の健康に留意し、毎日15分の運動の時間を設け、受託作業は靴下作業を主に行った。毎月1回はレクリエーションスポーツを実施し、健康維持及び介護予防に繋げた。
・お楽しみ外出企画を毎月1回計画し、主に近隣へ飲食を伴うドライブ外出等を実施。利用者はとても楽しめたよう。(お花見、日帰り旅行等)
・外部講師による「カラオケ・歌の教室」や「墨あそび教室」を定期的に実施、講師から指導を受けながら楽しい時間を提供することができた。
・「墨あそび教室」活動中に利用者が創作した作品を豊野町の「とよの秋まつり」に出展した。また、活動の様子や利用者の塗り絵等の作品を老人福祉センターロビーに展示して、市民に当所への理解を深めていただいた。

② 業務の効率化に対する取組み

・職員の適正配置と事務分担、利用者活動を最優先としながら、行事企画や体験教室の実施を効率的に実施した。

③ その他

・長野市北部障害者相談支援センター、民生委員等と連携し、4名の新規利用に繋げた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・高齢化等の理由で退所する利用者がおり、登録者数が定員を下回る年が続いている。そのため引き続き、新規利用希望者の開拓に向けて広報誌(「みのちグループだより」「こぶしだより」)、回覧板、学校関係者への声掛け等、地域に向けて情報発信を行った。4名増員となったが、うち1名は他事業者入所施設に移行。また、年度途中で2名が退所となり、結果1名増に留まった。
・現利用者は在宅で精神障害を持たれている方が多く、年数回しか利用されなかったり、年度途中で利用停止になっている方もいることから利用実績が上がらない状況である。また、高齢化により介護サービスを併用したことから利用回数が減った人もいて、今後も同様のケースが増加すると考えられる。
・長野市へ当施設の二階から一階への活動場所の移転を打診している。利用者の半数が後期高齢者で、歩行困難な利用者はエレベーターを利用している。災害時にエレベーターが利用できなくなってしまった場合、避難誘導が難しいと考えられることから、一階への活動場所の移転は利用者へのリスク管理として重要であり、急務事項と考えられる。
・車椅子の利用者はいないが、もし利用する際はエレベータで降り、1階の多目的トイレを利用しなければならない。また、車椅子を利用する程ではないが、足腰が悪い利用者は複数おり、洋式トイレが空いていない際は、1階まで降りて洋式トイレを利用している状況である。(一階は多目的トイレ以外は洋式トイレ)

(3) 総合評価

評価基準
【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者自己総合評価	C

① 評価理由

事業計画に沿って計画どおり実施できた。利用者数については増員減員があり、横ばいだったが、利用日数の増加に繋げることは出来なった。

② 次年度以降の取組み

・見学、体験希望者の受け入れ等について、関係機関と連携し積極的に行っていく。
・R8年度末で指定管理期限となることから、次期指定管理をに向けた取り組みを行うかの結論を出す年度とする。